

八尾歴史物語

五二巻

河内名所図会をあるく⑤ 恩智街道・後編（幻の都へ）

近鉄恩智駅から恩智街道をさ

らに西に進み、都塚と呼ばれて

いる場所で、奈良時代終わりに、

称徳天皇と道鏡により計画され、

造営がすすめられた幻の都・西

京（由義宮）を『河内名所図会』

（以下『図会』）を片手に探して

みましょう。

『図会』では、由義宮の前身と

なる弓削行宮が東弓削村にあっ

たとしています。そして、都塚

村にある塚

状に残った

祇園塚や弁

財天塚など

5カ所をそ

の名残とし

ました。現

在でも弁財

天塚は田畑

の中にあります。さらに由義宮

は、八尾木村にあったとし、「続

日本紀」の記事を引用していま

す。由義宮の近くにあったとさ

れる由義寺は、「弓削寺」と表記

されていますが、東弓削村と八

尾木村の間にあったと考えられ



▲弁財天塚

ていたようです。

『図会』の紹介をもとに、この

地を訪れた人々は、田畑の中に

点在する塚を見ながら、北に由

義宮、南に由義寺が広がるあり

し日の西京の姿を想像したので

しょう。平成29年の発掘調査に

より由義寺の塔基壇が見つかり

ましたが、今なお、由義宮の場

所は明らかになっていません。

街道を西へと進み、南北に通

じる八尾街道を越え、さらに長

瀬川沿いを進みます。安中小学

校の南側に「古蹟龍華寺址」の

石碑があります。龍華寺は、神

護景雲3年（769年）に称徳

天皇が由義宮行幸のみに訪ね

た寺院ですが、『図会』にも「龍

華寺古蹟」と紹介されており、

江戸時代、すでに境内などはな

かったのでしょうか。

これにて幻の都・西京を訪ね

た恩智街道の旅を終わりとしま

す。

☆問合せ

文化財課

TEL 924・8555

FAX 924・3995